

# 港地区コミュニティ設立準備委員会



## 地区の概況

人口	2,873 人	小学校	港東小学校（児童数 60 人） 港西小学校（児童数 50 人）
世帯数	1,066 世帯	中学校	港中学校（生徒数 79 人）
高齢化率	36.5%	幼稚園	なし
集落数	7	保育園	なし
		こども園	港認定こども園（園児数 50 人）

## 組織の状況

代表者名	尾崎 定幸
会の構成	区長会、分館長、高年クラブ、学校長、PTA、育成会、民生委員児童委員、公民館役員、市議会議員、公民館（計 19 名）

## これまでの経過

\*平成 27 年 4 月モデル開始

	これまでの取組み	主な内容
H 27	3月 検討委員会	設立準備準備委員の選出、準備委員会の日程決定
	4月 第1回設立準備委員会	設立準備委員会の規約の承認、役員を選任
	6月 第2回設立準備委員会	愛称決定、予算案の承認
	9月 第3回設立準備委員会	組織の検討、スケジュールの検討
H 28	11月 第4回設立準備委員会	設立総会の日程決定、組織の検討、スケジュールの検討
	2月 第5回設立準備委員会	部会名の決定、ワークショップ・地区説明会・委員の検討
	3月 福祉部会ワークショップ 出前講座、防災・防犯部会ワークショップ	地域の状況及び問題点の検討 地域の状況及び問題点の検討

## 分野別取組み内容

<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域振興</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①子ども見守り活動</li> <li>②あいさつ運動</li> <li>③夜間パトロール</li> <li>④浜清掃（気比の浜・田結の浜）</li> <li>⑤カニまつり</li> <li>⑥わかめまつり</li> <li>⑦絹巻神社奉納相撲大会</li> <li>⑧機関紙の発行</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域防災</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①自主防災訓練</li> <li>②大津波訓練</li> <li>③春・秋の火災予防運動</li> <li>④消防団による活動</li> </ul>
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">地域福祉</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①敬老会</li> <li>②いきいきサロン</li> <li>③玄さん体操</li> <li>④健康講座</li> </ul>	<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">人づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>①港西大運動会</li> <li>②港東地区体育祭</li> <li>③文化祭</li> <li>④乳幼児サークル</li> <li>⑤幼児教育学級</li> <li>⑥公民館各種教室</li> </ul>

## コミュニティの取組み



平成27年4月からモデル地区として取組みを始めました。これまでに準備委員会を5回開催し、早速、コミュニティの愛称を、“港地区の明るい未来は、みんなの手で”という意味が込められた「みなと未来の会」に決定しました。愛称を早めに決めることで、住民の皆さんがコミュニティにより興味を持ってもらえると思ったからです。

実際に、興味を持たれた住民の方から、「公民館の看板をコミュニティセンターに付け替えるだけじゃないのか？」と聞かれたりすること

もありますが、少子高齢化など、地区の実態に応じて中身も変えていくということを説明すると、「それはいいね！」としてくれます。

部会も決まりつつあり、3月からはワークショップを通して部会の具体的な内容を検討していきます。

公民館活動がとても充実していて、住民同士の結束力も強いので、コミュニティへの移行にはあまり不安がありません。コミュニティの部会も公民館活動をベースにしたものを想定しています。ただし、福祉と防災については新たに追加することを考えていますが、これらは問題が多面的で、何か一つを解決すればそれでいいというものではないので、コミュニティでどこまでやれるのかをこれからしっかり検討していきます。



尾崎定幸さん  
(同準備委員会 会長)